



## 特集

- 2026 年度リサーチャー育成講座一覧を公開  
準備が整った講座から、順次受付を開始しております

## TOPICS

- JMRA メールマガジン 100 号記念企画「10 年の歩みと未来の展望」
- 業界アンケートから見たインターネット調査の課題  
－ 調査品質低下の最大要因は「回答負荷」にある

Vol.100

2026/2/17 配信

2017 年の創刊以来、JMRA メールマガジンは読者の皆さまに支えられ、ついに 100 号を迎えることができました。この間、購読者数はおおよそ倍増し、知見共有の重要なプラットフォームとしての役割を強めています。

2 月は、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが熱戦の最中であり、国際的な注目がスポーツと国際協力へ集まっています。また、国内では衆議院議員総選挙が行われ、政治・経済の動きに対する関心も高まっています。こうした社会の大きな変化を背景に、JMRA は最新トレンドや調査の価値を皆さまにお届けしてまいります。引き続きご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

## 特集



2026年度リサーチャー育成講座一覧を公開

**準備が整った講座から、順次受付を開始しております**

日本マーケティング・リサーチ協会（JMRA）では、リサーチャーの育成を目的とした「リサーチャー育成講座」を、2026年度も開講します。体系的に整理された講座一覧を公開していますので、社内研修やスキルアッププログラムとしてぜひご活用ください。

講座の詳細は、セミナー一覧ページのほか、PDF内に掲載しているバナーリンクからもご確認いただけます。準備が整った講座から、順次お申し込み受付を開始しています。

例年、人気の講座は早期に満席となるため、ご関心のある方はお早めにお申し込みください。本講座は、JMRA 会員社のリサーチャーを主な対象としていますが、マーケティング・リサーチに関心のある方であれば、会員以外の方も受講いただけます

2026年度の育成講座も、業界の第一線で活躍する講師陣による実践的なカリキュラムを用意しており、現場で即戦力となるスキルを習得できる内容となっています。マーケティング・リサーチへの理解を深める機会として、ぜひご参加ください。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS

# 10年の歩みと未来の展望

## JMRA メールマガジン 100 号記念企画 10年の歩みと未来の展望

創刊から 100 号を迎えた JMRA メールマガジンの歴史を振り返りながら、これまでの発信が示す業界の変遷と今後の可能性を紹介します。ぜひ特設ページでその歩みをご覧ください。

[詳しくはこちら](#)

## TOPICS

### 業界アンケートから見たインターネット調査の課題 — 調査品質低下の最大要因は「回答負荷」にある

## 業界アンケートから見たインターネット調査の課題 調査品質低下の最大要因は「回答負荷」にある

インターネット調査を取り巻く環境は、近年、確実に厳しさを増しています。現場では「予定通りにサンプルが集まらない」「以前より回収が難しい」といった声が、日常的に聞かれるようになりまし

た。

こうした状況にリサーチャーを始め業界関係者の方たちはどのように感じ、対処しているのか。JMRA インターネット調査品質委員会では、その実態を把握するため、2025 年 7 月、調査会社および調査依頼企業・団体を対象に、業界アンケートを実施しました。

本調査の結果は、2025 年 JMRA50 周年カンファレンスでも一部発表しましたが、現状と課題を整理し、改めて業界全体で考えていきたいと思ひます。

[詳しくはこちら](#)

連 載

## JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●【NRC デイリートラッキング】生成 AI について 2025 年 12 月調査  
(2026.1.20 (株)日本リサーチセンター)  
生成 AI の利用実態に関する時系列調査レポートです。最新の利用経験率や主要サービスのシェア、活用目的の変化を属性別に分析しており、国内における普及状況を包括的に把握できる内容となっています。

[詳しくはこちら](#)  
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

今月の注目調査

●ヘアケアの意識探索調査  
(2026.1.23 (株)ネオマーケティング)  
日本と韓国の 20~49 歳女性を対象としたヘアケアに関する意識調査レポートです。支出額や重視するポイント、「今の仕上り」と「将来の健康」どちらに投資しているかなど、両国の消費行動や価値観の違いを比較・分析した内容となっています。

[詳しくはこちら](#)  
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

## 教育講座・セミナー案内



あなたの  
中に未来  
がある。

大好評! 第10回

# AI活用 情報交流会

2026年2月18日(水) 18:30~ Zoomにて ★参加無料

JMRAインターネット調査品質委員会

### ●AI活用・情報交流会(第10回 2月度)

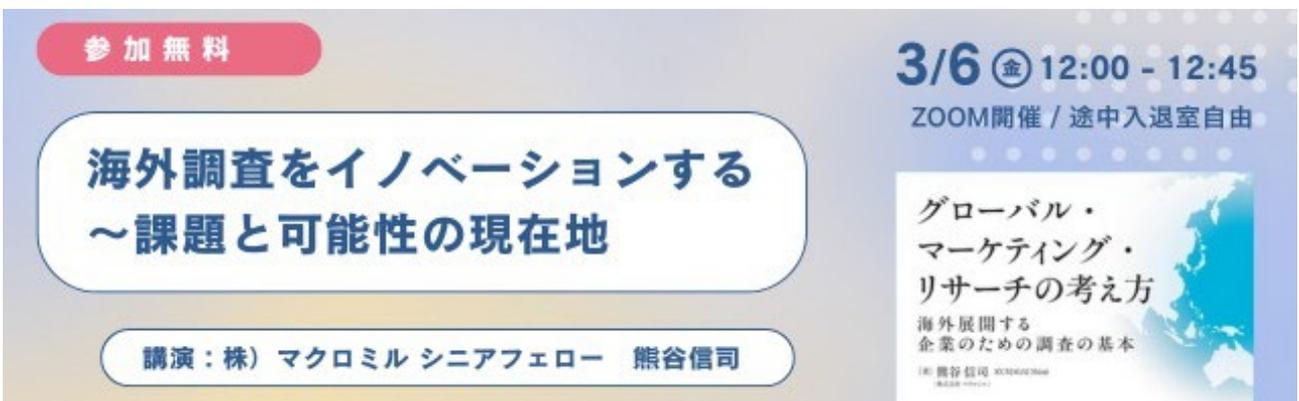
次回のインターネット調査品質委員会の主催による第10回の「AI活用・情報交流会」は、2026年2月18日(水)18:30より開催します。

2月度は、AIとリサーチについての最新動向の共有とともに、(株)HARVEST様から、「データ培養」という調査データの統計的な性質を踏襲しながら多様なデータを生成し、高密度なサンプル空間を構築する技術、その活用事例などについてお話をうかがいます。ぜひお気軽にご参加ください。

・日程:2026年2月18日(水) 18:30~20:00

・会場:Zoomミーティング

詳しくはこちら  
(外部サイト:peatix)



参加無料

## 海外調査をイノベーションする ~課題と可能性の現在地~

講演: (株)マクロミル シニアフェロー 熊谷信司

3/6 (金) 12:00 - 12:45  
ZOOM開催 / 途中入退室自由

グローバル・  
マーケティング・  
リサーチの考え方  
海外展開する  
企業のための調査の基本  
熊谷信司 KUMAGAI SHINJI  
HARVEST

### ●2026年度 AI・イノベーションセミナー 第4回

海外調査をイノベーションする ~課題と可能性の現在地~

第4回 AI・イノベーションセミナーは、(株)マクロミルの熊谷信司様にご登壇いただきます。

日系企業の海外売上比率の上昇や訪日旅行者数の最多記録更新など、海外の市場や消費者を知るための潜在的なニーズは高まり続けています。一方で、日本市場における海外調査(グローバル調査)の比率は依然として低いまま推移しています。

そこで、市場調査の「領域」におけるイノベーションとして、海外調査をめぐる課題と可能性を考えます。

- (1) 市場調査業界における海外調査の現在地
- (2) 海外調査の業務上の課題(国内調査にない問題、海外調査だから顕著になる問題)
- (3) 上記に対応するための生成 AI 活用や HI 育成などの可能性と課題

海外調査を昨今のテクノロジー状況も踏まえつつどのように発展させるか、皆様と共に考える時間にできればと思います。

・日程: 2026年3月6日(金) 12:00~12:45

・会場: オンライン(Zoom ミーティングを使用)

詳しくはこちら  
(外部サイト:peatix)

公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー

公的統計を用いたコロナ禍前後の地域別  
自殺率の変化と社会的孤立に関する分析

2026年3月13日(金) 14:00~15:00

#### ●2025年度 公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー 第4回

##### 「公的統計を用いたコロナ禍前後の地域別自殺率の変化と社会的孤立に関する分析」

本講演では、コロナ禍の前後で自殺率がどのように変化したのかについて、「地域における自殺の基礎資料」などの公的統計を用いながら、地域別の動向を把握・分析する方法をご紹介します。

特に、統計データの可視化を中心に、公的統計を読み解く際のポイントや、分析を進めるうえで生成 AI をどのように活用できるかといった実践的な視点も交えて解説します。

また、社会生活基本調査を活用し、自殺と社会的孤立との関係について、公的統計を組み合わせる際の考え方やアプローチについても取り上げます。

なお、社会的孤立との関連分析は、個票データやオーダーメイド集計に基づく分析事例の紹介

にとどまり、具体的なデータ活用方法の詳細な解説は行いません。

- ・日程:2026年3月13日(金) 14:00~15:00
- ・会場:Zoom ウェビナー

[詳しくはこちら](#)

## お知らせ

### 総務大臣より国勢調査協力支援の 感謝状を贈呈されました

#### ●総務大臣より国勢調査協力支援の感謝状を贈呈されました

JMRA では、令和7年国勢調査の実施にあたり、臨時社員総会や各種委員会、メルマガ、セミナー、JMRA アニュアル・カンファレンス 2025 など、さまざまな機会を通じて、チラシの配布やポスターの掲示等で業界内外に向けた協力の呼びかけを行いました。

こうした取り組みが評価され、このたび総務大臣より国勢調査協力支援に対する感謝状を贈呈されました。

国勢調査は国や地域の将来を支える重要な統計です。JMRA では、今後も府省や地方自治体  
が実施する各種統計調査への協力を通じて、社会に貢献する活動を続けてまいります。

[詳しくはこちら](#)

#### ●JMRA が後援するイベントのご案内

JMRA では、市場調査業界のドメイン拡張と関連業界とのコラボ促進を目指し、さまざまなイベントへの出展・後援を行っています。

今後も各主催団体と連携し、共同研究発表など、お互いのコンテンツをジョイントしていける場を  
拡張していく予定です。

 **MARKETING**  
TECHNOLOGY FAIR TOKYO

**マーケティング・テクノロジーフェア 東京 2026**

2026年2月26日(木)・27日(金) 10:00-17:00 東京ビッグサイト

## 【マーケティング・テクノロジーフェア 東京 2026 のご案内】

マーケティング、データ活用、DXを支える最新テクノロジーが集結する「マーケティング・テクノロジーフェア 東京 2026」が開催されます。本フェアでは、マーケティング活動の高度化を支える多様なソリューションや事例が紹介されます。

本イベントにおいて、JMRAの和田事務局長が登壇します。講演では、マーケティング・リサーチの視点から、データ活用が企業や社会の意思決定を支えてきた役割を振り返りつつ、マーケティング・テクノロジーの進展により求められるリサーチの在り方や責任について整理します。あわせて、AIなどの新技術をリサーチ領域へどう活用していくのか、新産業ビジョンや改訂綱領の考え方を交えながら展望します。

- ・名称: マーケティング・テクノロジーフェア 東京 2026 (第14回)
- ・日程: 2026年2月26日(木)・27日(金) 10:00~17:00
- ・会場: 東京ビッグサイト 東7ホール

詳しくはこちら  
(外部サイト: マーケティング・テクノロジーフェア東京)

**Pharma**  
IT & Digital Health Expo

ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポ 2026 (第7回)  
2026年4月21日(火) - 23日(木) 10:00-17:00

## 【ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポ 2026 のご案内】

本展は国内最大級の製薬業界に特化したITイベントとして、研究、開発、製造から商業部門に至るまで製薬業界におけるIT活用を推進し、製薬業界のビジネスを発展させるための最先端のテクノロジーを多数ご紹介します。

第7回目の開催を迎える本年は、過去最多となる100社を超える出展社と100のセミナープログラムを同時開催致します。是非、この機会をお見逃しなく、ご来場ください。

- ・名称: ファーマ IT&デジタルヘルス エキスポ 2026 (第7回)
- ・日程: 2026年4月21日(火)~23日(木) 10:00~17:00
- ・会場: 東京ビッグサイト 東8ホール

詳しくはこちら  
(外部サイト: インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社)

## ●不正なメールの表示名(送信者名)に関する注意喚起

このところ JMRA 事務局に、JMRA 会員社や実在する人物名をメールの表示名(送信者名)に騙ったメールが数多く届いています。読者の皆様様におかれましても、安易にメールの表示名(送信者名)だけを信じずに、送信元アドレスやメールの内容を吟味ください。また、十分な情報セキュリティ対策の実施をお願いします。

## ●3月号は3月17日(火)発行予定です



## ●多様な価値観をつなぐ -JMRA メールマガジンに期待する機能と役割-

JMRA の発信媒体を、紙媒体の『マーケティング・リサーチャー』誌から、協会 WEB サイトとメールマガジンへ軸足を移してから、早くも8年が経ちました。老舗のマーケティング・広告関係団体には、紙媒体からデジタル媒体への移行を模索しているところもあります。メールマガジンの定期発信をいち早く決断し、委員会を立ち上げて運用を軌道に乗せてこられた皆さまの先見性にご尽力に、あらためて感謝申し上げます。

マーケティング・リサーチ活動とは、データを活用して企業や社会の意思決定を支える「倫理・知識・技術」の集積プロセスだと私は考えています。JMRA のメールマガジンは、インターネット活用やリサーチの DX 化、AI 浸透といった時代を通じ、協会および業界関係者の活動の変化を映し続けてきた“業界ハブ”としての役割を果たしてきました。

昨年、JMRA は創立 50 周年という節目を迎えました。2025 年 10 月 2 日に開催された記念カンファレンスでは、最新のソリューションの展示、「マーケティング・リサーチ綱領」の改訂ポイントの説明とともに、新たに策定した「マーケティング・リサーチ産業ビジョン」を発信し、加盟企業のメンバーひとり一人が自ら大きく変わっていく、そして、産業全体としても領域を拡張することを宣言しました。

私たちマーケティング・リサーチ協会には、これまで以上に多様な価値観を持つ、幅広い領域の企業・団体の皆さまにご参画いただくこととなります。

JMRA メールマガジンには、今後も多様な価値観や協会活動を、多くの読者の皆さまにわかりやすく伝える役割をより一層期待しています。

メールマガジン 100 号の発行、誠におめでとうございます。

2026 年 2 月 17 日

一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 事務局長 和田雅直

---

- ◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。
- ◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。
- ◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
- ◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。
- ◆配信元: 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階  
<https://www.jmra-net.or.jp/>  
[office@jmra-net.or.jp](mailto:office@jmra-net.or.jp)

あなたの中に未来がある。